

HELLO!!!



外国語指導助手
パブロ・ショーペン
Pablo Shopen

水がもたらすもの

「オーストラリアと日本の一番大きな違いは何ですか」とよく尋ねられます。これはとても難しい質問です。なぜなら、それぞれの国の根本的な性質はさまざまだからです。しかし最も明らかな違いの一つは「水」です。水は生命の源であり、日本は水に恵まれています。たくさんの川があり、美しく青々とした森、田んぼ、菜園、果樹園などに命を与えています。一方、オーストラリアは広大な砂漠が大陸を覆っており、面積は日本の20倍ほどあるのに人口は6分の1程度です。水はオーストラリアの最も貴重な資源の一つなのです。

夏の暑い時期、私は家族と知清河原に行きました。子どもたちは小田川の涼しくてきれいな水で遊ぶという幸せな体験をしましたが、オーストラリア人にとってはとても珍しい体験なのです。

水は生命の偉大な資源であると同時に、3月11日の恐ろしい津波に見られるように命を奪うものでもあります。妻の家族は宮城県出身で、家族を失ったり経済的に被害を受けたりすることがどれほどの苦しみをもたらすのかということ、目の当たりにしました。

私たちは夏休みに東京を訪れましたが、人々はいまだに福島原発の影響を感じているようでした。このように日本の豊富で美しい水が汚染されるのは悲しいことです。

しかし東京に滞在中に、とても元気づけられる行事にも参加しました。妻のいとこの結婚式に出席したのです。おもしろい偶然で、新郎・新婦はどちらも東北地方の出

身でした。それはとても素晴らしく、まるでたくさんの人が体験した喪失感よりもさらに大きな喜びや誠実さにあふれたお祝いをしようと、出席者全員が思っているようでした。私は日本人の精神の素晴らしさをはっきりと見ることができました。日本人はとても強く、困難に立ち向かう復興力や順応力があるということに気付きました。

日本の社会は「かたい」と言う人もいます。日本には忠実に守るべき厳格な仕組みがあります。オーストラリアは対照的で、もっと社会に対して穏やかで人間関係も堅苦しくありません。一見するとオーストラリアと日本のもう一つの違いのようですが、日本の素晴らしい社会的結束や、時に「かたい」と言われる社会が、恐ろしい災害に立ち向かい克服する強さを生み出しているのです。

3月11日の地震と津波は、いま私たちが抱えている環境問題と向き合わなければ、その結果に苦しむということを思い出させました。一方で、よい地域づくりのために協力し合う日本人の素晴らしい能力も示しました。これは現在の世界的な環境危機を解決するために、私たち人間に必要なものです。どうしたらこのような日本人の精神を表せるのでしょうか。強さ、結束、復興力そして順応力の源は、水にあるのかもしれませんが。水が日本の精神を宿しているのでしょうか。私の子どもたちは毎日、小田川で泳いでいるので、きっとその特別な日本の精神を宿していることでしょう。私はそう願います。